

新制岩手高等学校 } 発足
" 岩手中学校

- 1. 県水泳協会北海道合宿
瀬川監督、岩中より栃沢、村井良参加する。
- 6. 3 第1回県民大会春季大会 (高松の池)
- 7. 3 県下高校春季大会 (花巻温泉プール) 12名参加 ⑦岩高
- 7. 10 第1回市内高校水泳大会 (盛一) ②岩中 84点
- 7. 15 東北高専学生水上大会 (城南) ①東北学院
- 8. 14 県下郡市対抗兼県選手権大会 (城南プール)
- 8. 21 県下中学校大会 (下ノ橋プール) ①岩中 65点
第3回国体(八幡市) 岩手県初参加
- 9. 5 第1回県民大会 (花巻温泉プール) ⑥岩高 18点
- 9. 15 第1回県下高校秋季大会 (城南) ①福岡高 ②岩高



第4代県水泳協会理事長に瀬川政雄氏就任

- 6. 18~19 日大水泳部来県、笈良夫(岩中卒)ら6名が花巻温泉プールでコーチ
- 7. 3 第1回高体連(花巻温泉プール) ①三陸 ⑦岩高
- 7. 10 市内高校水泳大会 (盛一プール) ①盛一 99点 ②岩高 84点
村岡 100背、200背 ① 栃沢 100平、200平 ① 岩高 300メドレー ①
- 7. 23~25 全日本選手権 (東京) 岩手県代表で笈良夫(日大) 400自、200自に出場
- 8. 6 第2回盛岡市内小、中学校大会 (下ノ橋プール) ①下橋 ②岩中
- 8. 13 第3回県下実業団対抗大会 (城南小プール)
- 8. 14 都市対抗兼団体県予選 (城南小プール)
笈(盛岡) 100自、1'03"6 県新記録 全盛岡(伊藤、栃沢、笈) 300メドレー 3'53"0 県新
" 200自 1'21"5
- 8. 21 第3回県中学校大会 (下ノ橋プール) ①岩中
- 9. 5 第2回県高校選手権兼第1回県民大会 (花巻温泉プール) ①三陸 59点 ⑥岩高 18点
- 9. 15~18 第4回国体 (横浜 師毛山プール)
- 9. 18 郡市対抗 (盛一プール) ①盛岡

S 25. 6.10~11 高体連 (花巻温泉プール) ①福岡 47点 ③岩高 36点

村井 200背 2'58"7 大会新 ①

7. 15 第3回市内大会 (盛一プール)

高校の部 ②岩高 74点 中学の部 ①岩中 107点

7. 23 第1回岩手県水球選手権 (東北繊維プール)

1回戦 岩水協A 13 { $\frac{7}{6} - \frac{3}{5}$ } 8 桜泳会B

桜泳会A 17 { $\frac{10}{7} - \frac{4}{2}$ } 6 岩中

2回戦 岩高 5 { $\frac{3}{2} - \frac{2}{1}$ } 3 岩水協A

桜泳会A 12 { $\frac{5}{7} - \frac{4}{3}$ } 7 岩水協B

決勝 岩高 16 { $\frac{7}{9} - \frac{4}{7}$ } 11 桜泳会A

7. 27 市内中学校大会 (下の橋プール) ①岩中 57点

7. 31 都市対抗並び県選手権大会 (釣山公園プール)

一般、村井孝(県庁) 50背、100背 ①

高校、村井良 100背、200背 ① 栃沢 100バタ ① 1'20"7 県新

8. 1 全国ジュニアリクレーション県予選会 (下の橋プール) ①岩中

吉田、村井、石田、泉館学代表となる。(中央大学プール)

8.11~12 第2回東北大会 (花巻温泉プール) 青森不参加

栃沢 100平 ② 村井良 200背 ⑤

8.19~20 第3回県中体連 (花巻温泉プール) ①岩中 57点

8.18~21 日本高校選手権水上競技大会 (広島県呉市宮二河プール)

終戦后初めての遠征。そして30時間のなれぬ汽車の旅で全員疲労甚だしく始めて行われた競泳の部では日米対抗出場選手と堂々戦ったが、いかにせん50mプールを夢にしか見たこともない我々は万余の観衆と共に圧倒され、全部落選。気温40° 水温34° (湯)

水球の部

第1回戦 岩手高 5 { $\frac{3}{2} - \frac{3}{0}$ } 3 姫路西高

第2回戦 岩手高 不戦勝 大阪天王寺高

準決勝 岩手高 0 { $\frac{0}{0} - \frac{11}{18}$ } 19 熊本済々高

3位決定戦 岩手高 0 { $\frac{0}{0} - \frac{12}{8}$ } 20 都立附属高

我々は初陣の水球に於て幸運にも第4位となり岩手高水球部が全国松舞台に活躍したことは大きな収穫であった。(栃沢 記) (以上石桜47号記載)

又、本場の水球に対しても大変為になった。折から遠征中のアメリカ水泳選手団、殊にスタート、ターン、バタフライ、バック等は勉強になった。

GK 佐々木一彦 LB 佐藤昭八郎 B 高橋 毅 B 吉田 義輝

(1年) (3年) (2年) (1年)

RF 阿部 敬一 LF 藤村 隆 CF 栃沢 正夫 交代 栃沢 敬吉

(2年) (2年) (3年) (2年)

補欠 丹内 禅海 村井 良和 監督 村井 莊平・高橋 一司

(1年) (1年)

8.26~27 第2回県民大会

9.19~22 国体 (名古屋市振浦プール)

村井良和(栃沢病気の為不参加)

10. 志戸平温泉プール完成

S 26. 1. 14 第1回冬季東北水泳選手権大会 (志戸平温泉プール)

伝統誇る我が水泳部の練習は寒風すき吹く3月の合宿練習に始められた。まだ雪も消えない志戸平で我々は骨身をけずる様な猛練習を行った。長年の目標である優勝旗を今年こそ、今年こそ我が物にせんと、全員一丸となり、苦しみを物ともせず、練習を続けたのだった。

だが惜しむらくは、この年は高校にとって誠に不運の年であった。

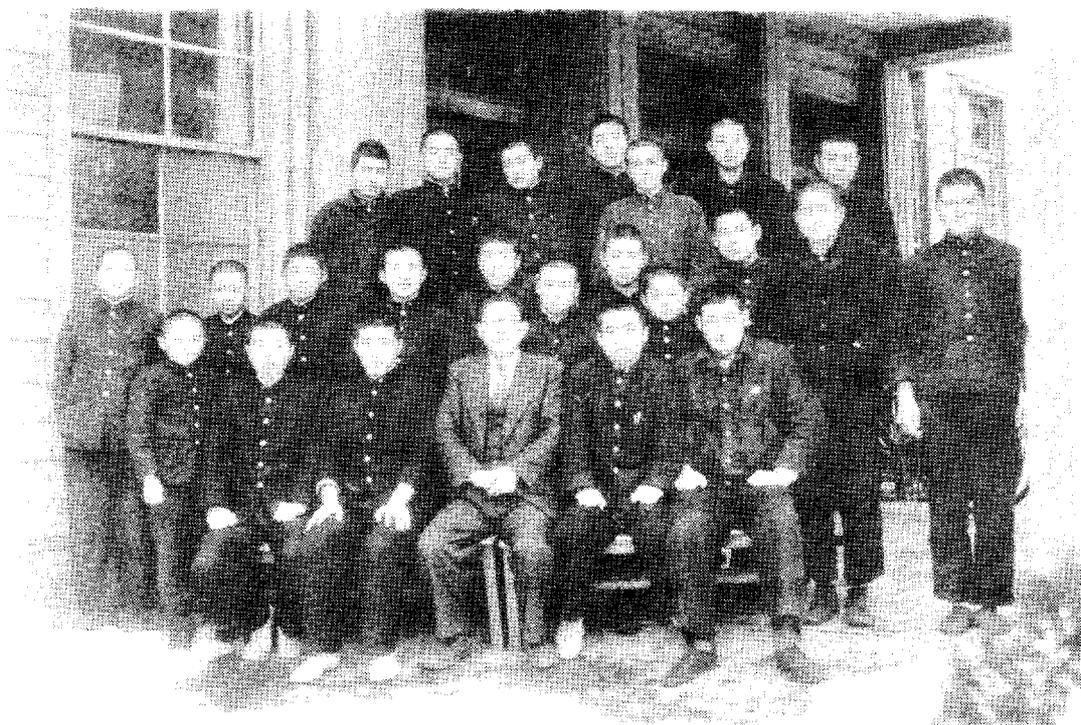
これに反し、中学は市内、県大会の両大会に於て堂々三連覇し、しかも、全種目優勝と云う偉業をなしとげた。

この輝かしい記録は我が水泳部始まって以来の事である。

この記録は我が水泳部の長い歴史の一頁に永遠不滅の金字塔となったのである。

3. 24~31 第1回県水泳選手合宿 (志戸平)
全日本ヘッドコーチ 太田光雄氏
村井良 100背 ① 1'19"8 県高新
6. 2~3 第4回高体連 (花巻温泉プール) ①福岡 37点 ④岩高 33点
村井良 50背 36"0 県高新
7. 15 市内中学校大会 (下の橋プール) ①岩中 78点
“全種目優勝” 村井健 50背、100背、300メドレー岩中チーム 県中新
7. 20 市内高校大会 (盛一プール) ②岩高 63点
7. 22 県選手権 (花巻温泉プール)
- 8.11~12 東北大会 (仙台二高プール)
村井良、石田 出場
一般、岩根和夫、村井孝、伊藤昭一郎、村岡初男、栃沢正夫 出場
- 8.17~19 インターハイ (横浜野毛山プール)
競泳 村井良 50背、100背、石田 200平に出場
水球 一回戦 岩高 13 { $\frac{6}{7} - \frac{3}{5}$ } 8 成溪高
準決勝 岩高 3 { $\frac{1}{2} - \frac{5}{8}$ } 13 湘南高
総合4位
8. 26 第4回中体連 (花巻温泉プール) ①岩中 57点
全種目優勝 県中新5種目、大会新6種目
金福 100自 (県中新) 1'10"8
吉田 200自 (") 2'42"1
村井健100背 (") 1'26"8
岩中 (村井、長谷川、金福) 300メドレー (県中新) 4'17"2
" (吉田、佐藤、小野寺、金福) 400Mリレー (県中新) 5'08"9
9. 1~2 第3回県体 (花巻温泉プール)
村井良 100背 ①
水球選手権
1回戦 岩高 10 (10-0) 0 花高 コールド勝ち
準決勝 岩高 9 { $\frac{4}{5} - \frac{2}{1}$ } 3 松尾鉦山
決勝 岩高 5 { $\frac{3}{2} - \frac{2}{5}$ } 7 桜泳会A
岩高、国体出場ならず。
9. 20~23 第6回国体 (広島県呉市)
村井良和 出場
青年の部 村上 (宮古水産卒) 400自 ③
11. 14 秋季県選手権 (志戸平プール)
①村井健 50背 37"4 100背 1'25"1 (県中新)
①吉田 800自 12'34"0 (県中新)
①長谷川 100平 1'29"1 (")
①岩中 200リレー 2'18"6 (県中新)
27. 1.12~13 第2回冬季東北選手権大会 (志戸平)
古橋、奈良五条高他 参加
6. 1~2 第5回高体連 (花巻温泉プール) ①岩高 55点
- 7.12~13 東北地区大学選手権 (岩大プール)
伊藤昭 (医大) 50背 ② 佐藤昭 (岩大) 100平 ②
" 100背 ③ " 200平 ③

7. 27 第3回県水球選手権 (岩大プール) 参加7チーム
 決勝 岩高 10 (10-0) 0 釜鉄 コールド勝ち
 特別試合 全岩手 6 { $\frac{2}{4} - \frac{1}{0}$ } 1 岩高
8. 3 県選手権 (花巻温泉プール)
 村井良 ② 100背 1'18"6 (県高新)
 金 福 ② 100自 1'08"6 (県中新)
- 8.9~10 第7回東北大会 (弘前高プール)
 本校より村井兄弟、遠藤、吉田が県代表選手
 村井良 ① 100背 1'18"8 (県高新)
 " ② 50背 36"0 (県中新)
- 8.16~17 東日本高校選手権大会 (千葉県 館山プール)
 参加98校 本校より競泳6名と水球に出場
 競泳予選通過 3種目
 水球 準決勝 岩高 1 { $\frac{1}{0} - \frac{7}{7}$ } 14 慶応
- 8.23~24 第5回県中体 (花巻温泉プール) ①岩中 (四連勝)
 小野寺 800自 ① 11'51"8 (県新)
8. 24 第4回北関東、東北高校選手権大会 (飯坂温泉プール)
 本校より4名出場 ④岩高
 メドレー 300M ② 岩高 (村井兄、吉田、遠藤) 3'51"8 (県新)
 100背 ① 村井兄 1'20"0
8. 30 市内水泳大会 (城南プール) ①岩高 128点 } 全種目優勝
 ①岩中 90点
9. 2 第4回県体 (花巻温泉プール) ①岩高 58点
 300Mメドレー ① 岩高 (村井兄、吉田、遠藤) 3'47"4 (県新、県高新)
 100背 ① 村井兄 1'17"8 (県高新)
- 9.20~23 第7回国体 (宇都宮プール)
 本校より、村井兄弟、遠藤、吉田の4名出場
11. 3 第2回秋季選手権大会 (志戸平)
 中学の部 100自 ①小野寺 1'09"4 (県中新)



28. 1. 13 第3回冬季東北選手権大会 (志戸平)
東北5県、奈良県、神奈川県、和歌山県ら参加
- 5.31~6.1 第8回高体連 (釜石鈴子プール) ①岩高 78点 (3連勝)
800Mリレー ①岩高 (小野寺、金福、吉田、遠藤) 10'11"0 (県新)
- 7.4~5 第4回東北地区大学水泳大会 (福島市)
伊藤昭一郎、佐藤昭八郎 出場
- 7.25 第4回全国勤労者大会県予選大会 (志戸平)
岩根 (岩大職) 細田 (県庁) 出場
- 7.25~26 県選手権大会 (志戸平)
- 8.15~16 第8回東北大会 (会津若松)
本年より高校は学校対抗となる。
1500自 ① 小野寺 22'09"0
200Mリレー ① 岩高 1'59"0
800Mリレー ① " 10'17"0 (吉田、金福、遠藤、小野寺)
総合 ③岩高 23点 ①新潟 28点
- 8.20~23 インターハイ (名古屋) 水球 岩高 $\left\{ \begin{matrix} 2-0 \\ 2-2 \\ 1-2 \end{matrix} \right\}$ 明治 延長戦 岩高 $2 \left\{ \begin{matrix} 1-0 \\ 1-2 \\ 0-2 \end{matrix} \right\}$ 4 明治
1500自 ③ 小野寺 400自 ④ 小野寺 ⑥ 遠藤 200Mリレー ④ 800Mリレー ④
- 8.22~23 第6回県中体連 (田老一中プール) ①岩中 51点 (5連勝)
- 8.22~23 全国勤労者大会 (会津若松)
総合 岩手県 ⑤
- 9.3~4 県体 (花巻温泉プール) ①岩高 75点
中学の部あり
800Mリレー ① 岩高 (小野寺、金福、遠藤、吉田) 10'11"8 (県新)
- 第2回水球選手権大会
水球 決勝 岩高 4-1 桜泳会
- 9.20~22 第8回国体 (高知市)
本校より 遠藤、吉田、小野寺 出場
9. 1. 第4回冬季東北大会 (志戸平)
- 5.29 桜泳会設立 (本校) 会長 斉藤徳三郎、副会長 栃内松四郎、猪原啓三
理事 八角、太田、村井研
- 6.22~23 高体連 (志戸平) ①岩高 54点
- 8.1 県選手権大会 (田老町プール)
- 8.7~8 第9回東北大会 (米沢市) ①相川 41点 ②岩高 37点
小野寺 400自、1500自 ①
吉田 100バタ、200バタ ②
200Mリレー、800Mリレー 岩高 ③
- 8.14~15 第6回県高校水泳大会 (岩谷堂プール) ①岩高 64点
400Mリレー ① 岩高 (吉田、川辺、金福、小野寺) 4'33"6 (県新)
200バタ ① 吉田 2'56"8 (県新)
- 8.21~23 第22回インターハイ (神宮プール)
100バタ ④ 吉田 1'18"6 準決で失格
- 8.20~22 水球 岩高 $1 \left\{ \begin{matrix} 1 \\ 0 \end{matrix} \right\} \frac{5}{9}$ 14 山城高 (日大プール)
15チーム参加
- 8.28 第5回全国勤労者大会 (高知市) 総合 ②釜鉄 49点
第7回県中体連 ②岩中
- 8.29 市民大会 (下ノ橋プール)
②岩中 ①岩高

9.4～5 第6回県体 (花巻温泉プール) ①岩高 41点

400自予 小野寺 5'08"6 (県高新)

水球 決勝 岩高(0-5)桜泳会

9.19～ 第9回国体 (奈良県天理市)

吉田、小野寺 出場

この大会より 400Mメドレーリレーとなる。

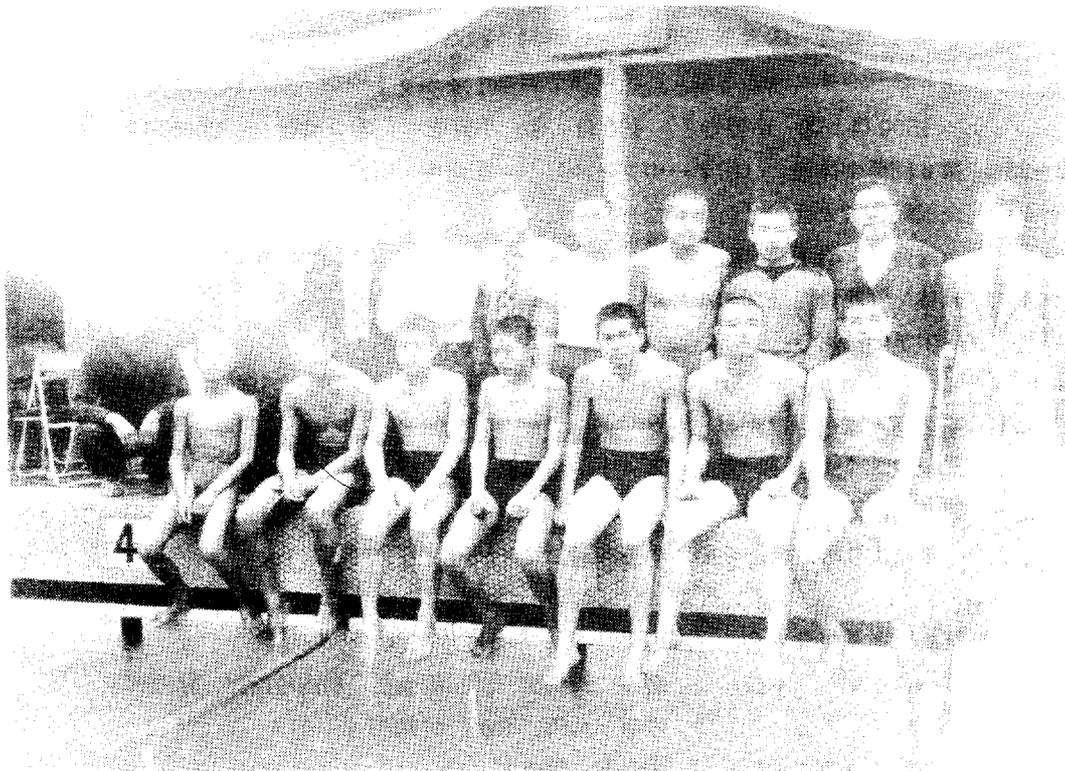
11.23 金田一温泉プール完成 50M

乏しい経験からではあるが覇者たるには、チームワーク、先輩に対する礼儀、そして代人の事を考える事で、その上での猛練習こそが最近道であると信ずる。

県内の諸大会には圧倒的な優勝をとげたが“勝つ兜の緒をしめよ”の金言が時に大切であると感じる。

本年は中学校大会に六連覇をはぐまれ、来年に再度の優勝を期待する。

最後に、上記の三点が覇者への最も近道である事を繰り返して本年の部報とする。(村井記)



S30. 1. 9 第5回多季東北選手権大会 (志戸平)

6.25～26 第7回高体連 (宮古市営プール) ①岩高 57点(4連勝)

7. 30 第6回全国勤労者大会県予選会 (仁王小プール)

7.30～31 県選手権大会 (仁王小プール)

市内大会 ①岩中 ①岩高

8.10～11 第10回東北大会 (金田一温泉プール)

400自 ② 小野寺 1500自 ③ 小野寺

⑧岩高 10点

8.27～28 第8回県中体連兼第6回全日本中学通信競技大会 (花巻温泉プール) ①岩中 51点

800自 ① 阿部 11'37"6 県中新(全日本中学19位)

9.3～4 第7回県体 (花巻温泉プール)

9. ①福岡 30点 ②岩高 23点

9.22～26 第10回国体 (鎌倉市)

小野寺、浦山 出場

9. 30 堂々のプール完成

全面的利用に大きな期待、総工費四百万円。

昨年五月着工以来10月15日まで1年5ヶ月の日時と総工費400万円で堂々の完成をみた。

同プールは三田理事長の発案により岩手奨学会が建設したものである。全景は巾15m、7コース短水路で深さは飛び込み用の最深部が2m10、一番浅い所で1m30である。付属施設としてはポンプ小屋と脱衣場がある。市内で日水連公認資格をもつものとしては二つ目のプールである。

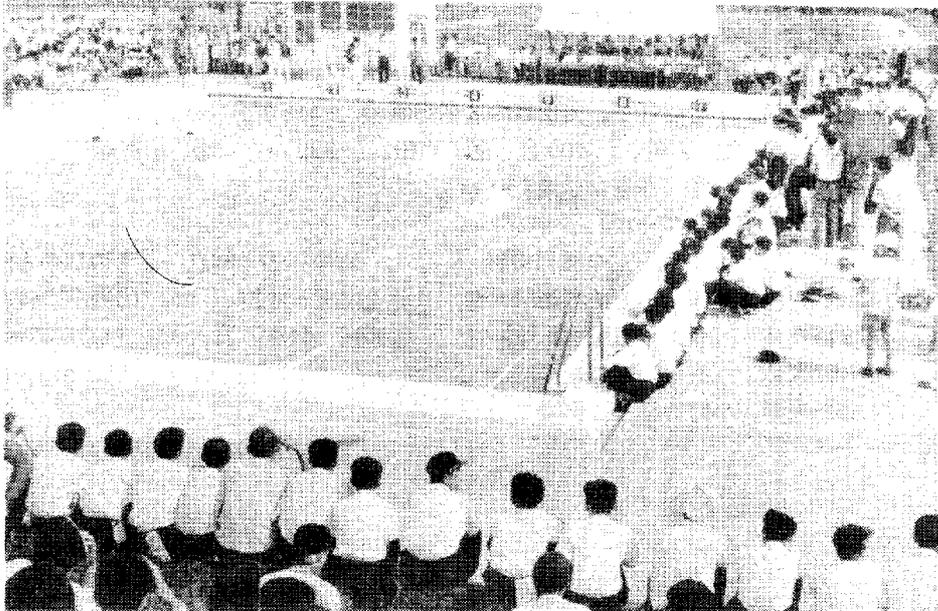
S31. 1. 8 第6回冬季東北選手権大会 (釜石鈴子プール)

6.2~3 第8回高体連 (花巻温泉プール) ③岩高 43点

7. 14 プール開き

7月14日午後一時より、盛大に行われた。このプールは一昨年の五月着工以来、実に一年五ヶ月の日時と総工費400万円の費用で完成したものである。当日はや、薄曇りであったが理事長夫人、県水泳連盟理事長瀬川政雄氏その他多数の来賓、先輩の方々、それに全校生徒が出席し式を行った。式終了後、市内小、中、高校、それに本校選手も加わりレースを展開した。小学校1位 城南(一校のみ)、中学校1位 下ノ橋、2位 厨川、3位 河南、高校 本校と盛岡一高と対戦、僅差で本校が1位。

次に先輩、現役選手が次のチームをつくってレースを行った。戦前派戦前派学生チーム、戦後派学生チーム、高校水泳部、中学水泳部、途中瀬川氏によって古式泳法水浮流の模範泳法が行われた。次に全校生徒に紅白の菓子がおくられた。その後、更に本校チームと先輩チームとの間で水球が行われた。



7. 28 第7回全国勤労者大会県予選会 (宮古市営プール)

岩根(岩大職) 村井孝(県庁) 出場

7.28~29 県選手権大会 (宮古市営プール)

400自 ① 阿部(岩中) 5'12"8 (県中新)

1500自 ① " (") 21'08"2 (大会新)

8.4~ 第11回東北大会 (秋田)

高校男子 ③釜石高 38点 高校女子 ①花巻南

8. 11 市民大会 (岩手高プール)

①岩高 92点 ①岩中 114点

阿部(岩中) 200自 ① 2'29"4 (県中新)

" " 400自 ① 5'19"9 (")

8. 26 第9回県中体連兼全日本中学通信 (大船渡市) ①岩中 55点

800自 ① 阿部 11'02"4 県中新(全国中学7位) 200バタ ① 角掛 3'23"0 県中新

800Mリレー ① 岩中(阿部、伊勢沢、杉村、阿部) 11'21"6 県中新

- 8.25～26 全国勤労者大会 (奈良天理プール) ③富士鉄釜石
- 9.1～2 第8回県体 (岩手高プール) ①釜石 42点 ③岩高 22点
- 9.21～24 第11回国体 (大阪甲子園プール)

S32. 1. 13 第7回冬季東北大会 (釜石鈴子プール)

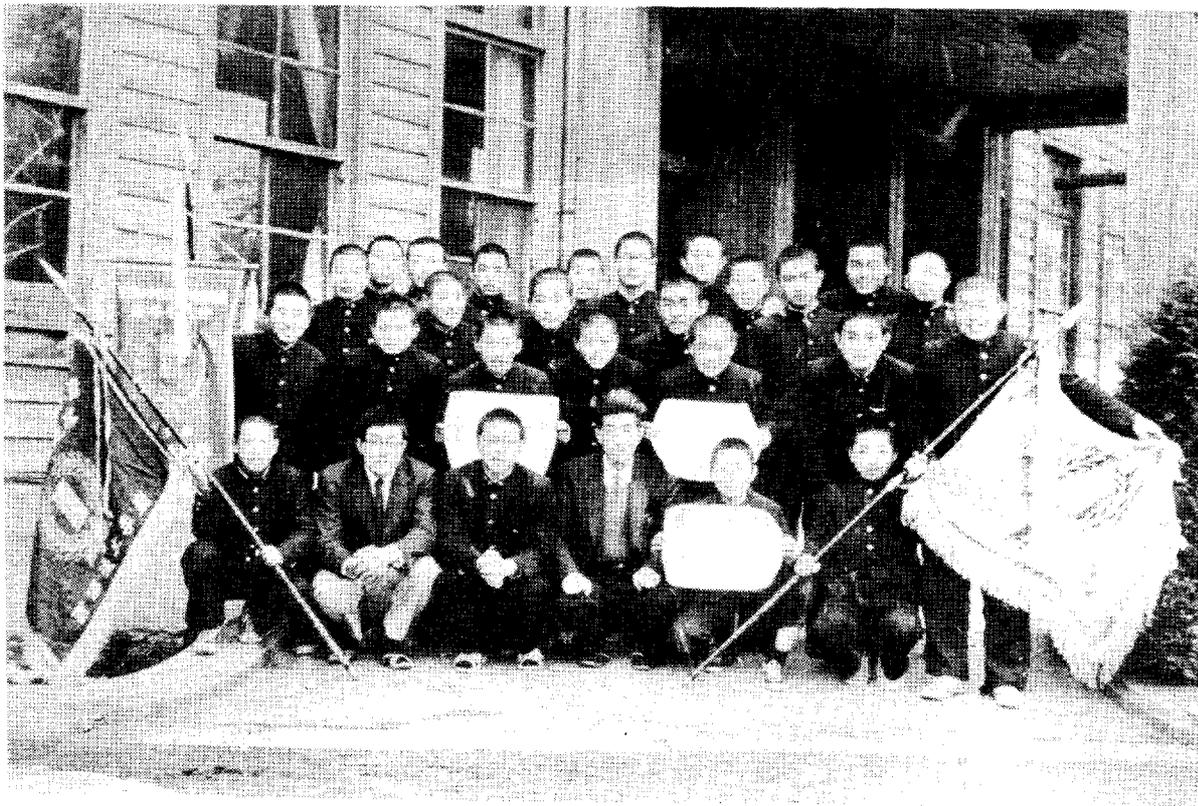
プール完成の次年、すなわち昨年岩高水泳部が無残にも敗れた。それは県下水上界のレベル向上を意味するものでいっそう我々を協力を導いた。6人の卒業生を送り現役が僅か3人という心細さのうちに10人の新入生を迎えたが、それには県下の覇者阿部紀夫がいなかったことはさびしい。

我々は再び県の王座に着かんために打倒釜石を誓い、厳寒のうちから猛トレーニングを開始し、礼儀、団結を重んじそれが勝利への近道と信じた。

そして数ヶ月、中、高合体のトレーニングは容易ならぬものであったが、うまくまとまった我々は、そのままシーズンに突入することが出来た。

花見前の冷水をあびていた我々の耳に入ったものは、最初の難関である高体連が6月上旬であるということである。この北国で中央より早く行われるということは多くの不満があったが結局強行された。温水で早期より練習出来る福岡、花巻、釜石に対して本校が中古の風呂を購入し県下の話題を呼んだのもこの頃である。

- 6.1～2 第9回高体連 (志戸平温泉プール) ①岩高 41点
- 7. 27 第8回全国勤労者県予選会 (大船渡)
- 7.27～28 県選手権大会 (大船渡)
- 7. 30 戦後初の校内水泳大会
- 8. 4 市内大会 (岩高プール) ①岩中 72点
- 8.10～11 第12回東北大会 (長岡市) ①相川高 26点 ②岩高 22点
吉田充孝、小野寺祥一、吉田豪の3名出場
1500自 ① 吉田、 400自 ③ 吉田、 200バタ ② 小野寺
高校女子 ① 花巻女子高
- 8. 18 市民大会 (岩高プール)
岩高 ① 125点 全種目優勝 岩中 ② 98点 下の橋中と同点
- 8. 25 第10回県中体連兼全日本中学通信大会 (北上中プール) ①岩中 44点
- 8.24～25 第9回県体 (金田一温泉プール) ①岩高 44点
- 9.22～25 第12回国体 (浜松市)
吉田充孝、小野寺祥一 出場



- S 33.** 1. 12 第8回冬季東北大会 (釜石鈴子プール)
 6.8～9 第10回高体連 (志戸平) ①岩高 50点
 7. 19 不動小中学校プール落成式招待さる。
 7. 26 第9回全国勤労者大会県予選会 (花巻温泉プール)
 7.26～27 県選手権大会 (花巻温泉プール)
 8. 5 市内大会 (岩高プール) ②岩中 44点
 8.9～10 第13回東北大会 (青森高プール) 岩高 10点
 200平 ③小笹
 高校女子 ①花巻高
 8. 17 盛岡市体育協会10周年記念大会 (岩高プール)
 高校の部 ①岩高 中学の部 ②岩中
 8.23～24 第10回県体 (大船渡) ①岩高 30点
 8. 28 第2回校内水泳大会
 9.14～17 第13回国体 (宮崎県高岡)
 小野寺、小笹、(OB)吉田重治 出場
 8.30～31 第11回県中体連兼第4回全日本中学通信大会 (金田一プール) ③岩中 28点
 800自 ①藤原 12'15"0 (全国中学45位)

- S 34.** 1. 10 第9回冬季東北大会 (釜石鈴子プール)
 シンクロチーム模範演技
 7.4～5 第11回高体連 (岩高プール) ①岩高 81点
 7. 25 第10回全国勤労者大会県予選会 (岩高プール)
 7.25～26 県選手権大会 (岩高プール)
 8. 2 市民大会 (岩高プール) 中学の部 ②岩中 47点 高校の部 ①岩高 67点
 8.6～7 第12回県中体連兼第6回全日本中学通信大会 (石鳥谷)
 400自 ①藤原 5'22"7 大会新 (全国中学20位)
 800Mリレー ①岩中(藤原、細矢、浦田、小田原) 11'21"1 県中新
 総合 ②岩中
 8.8～9 第14回東北大会 (福島県内郷市)
 8.29～30 第11回県体 (岩高プール) ①岩高 30点

「水泳部」といえば、今では勝つのがあたりまえの様に思われて来ましたが、ここ迄くる事が出来たのも、部長並びに先輩のおかげであります。私は今、私の六年間の部員生活を終ろうとして居りますが、水泳部程離れ難い部は、本校には二つとないと思います。この目に見えない「物」を永遠に伸ばす様に努力して下さい。最後に、来シーズンも、本年度以上の成績を上げん事、並びに岩高岩中水泳部の発展を祈って擱筆する。(伊勢沢記)

- S 35.** 1. 10 第10回冬季東北大会 (釜石鈴子プール)
 400自 ①阿部(岩中～法政二)、背泳長谷(早大OB)、バタ青木(専大)参加
 7.2～3 第12回高体連 (岩高プール) ①岩高 83点
 200平 ①小笹 2'48"7 県高新
 100平 ②" 1'18"1 "
 7. 23 第11回全国勤労者大会県予選会 (花巻温泉プール)
 釜鉄 11連勝
 7.23～24 県選手権大会
 7.30～8. 第15回東北大会 (仙台二高プール) ④岩高 15点
 200平 ①小笹 2'48"7 大会新
 100平 ②" 1'19"0 "
 8.6～7 第13回県中体連 (石鳥谷) ①岩中 52点
 800自 ①細矢 11'02"4 県中タイ (全国中学18位)
 800Mリレー ①岩中(細矢、中沢、川端、小田原) 11'02"3 県中新

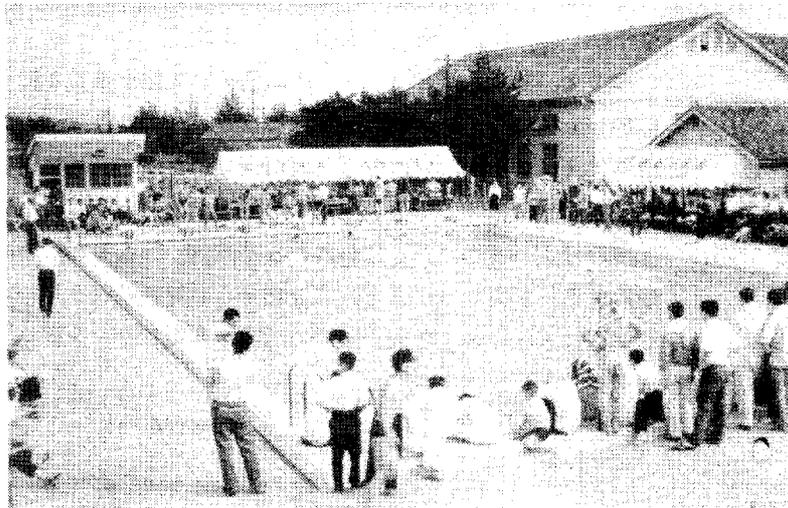
- 9.4～5 第12回県体 (岩高プール) ①岩高
200平 ① 小笹 2'45"3 県高新
- 9.24～27 第12回国体 (熊本)
小笹、八倉、藤原 参加
200平 ⑦ 小笹 (東北高校初の決勝進出)



- S36. 1. 16 第11回冬季東北大会 (釜石鈴子プール)
山中(早大)参加
- 7.1～2 第13回高体連 (岩高プール) ①釜石 76点 ②岩高 48点
800Mリレー ① 岩高 25M差を大逆転勝ち。
- 7.22 第12回全国勤労者大会県予選会 (花巻温泉プール)
- 7.22～23 県選手権大会 (花巻温泉プール)
8. 1 市内大会 ②岩中 52点
- 8.2～3 第16回東北大会 (酒田市) 岩高不参加
高校女子の部 ① 谷村学園 3連勝
- 8.5～6 第14回県中体連 (花巻温泉プール) ①岩中 61点
400自 ① 細矢 5'07"9 県中新
1500自 ① " 20'37"9 "
400メドレー ① 岩中(坂東、後藤、細矢、中沢) 5'34"4 県中新
8. 13 第9回東北地区中学校記録会 (秋田市)
400自、1500自 ① 細矢
400メドレー ③ 岩中
第13回市民大会 (岩高プール) ①岩高 48点
- 8.23～25 第1回全国中学校大会 (浜松市)
細矢 400自、1500自に出場
- 8.26～27 第13回県体 (岩高プール) ①岩高 31点
高体連の雪辱成る。
- 9.14～17 第16回国体 (会津若松)
村井、藤原、小田原 出場

- S 37. 1. 4 第12回冬季東北大会 (釜石鈴子プール)
 本県で個人メドレー導入さる。
2. 川村松助氏死去により瀬川会長、岩根理事長となる。(岩手県水泳連盟に改称)
- 6.30～7.1 第14回高体連 (岩高プール) ①岩高 81点
 1500 自 ① 細矢 20'48"3 県高新
 100 バタ ① 藤原 1'10"6 県高新
 400 Mリレー ① 岩高(細矢、中沢、小田原、藤原) 4'32"1 県新
 800 Mリレー ① 岩高(中沢、小田原、細矢、藤原) 10'00"5 "
7. 14 全国勤労者大会県予選会 (石鳥谷)
 7.14～15 県選手権大会 (石鳥谷)
 1500 自 ① 細矢 20'21"0 県新
 400 個メドレー ① 藤原 6'00"4 県新
- 7.28～29 第15回県中体連 (和賀仙人プール) ①釜石二中 94点 ④岩中 52点
- 8.1～2 第17回東北大会 (長岡市) ④ 岩高 27点
 400 自 ③ 細矢 1500 自 ③ 細矢 200 バタ ② 藤原 800 Mリレー ② 岩高
 400 個メドレー ③ 藤原
8. 5 第14回市民大会 (下ノ橋プール) ①岩高 44点 ② 岩中 46点
- 8.11～12 第2回東北中学校大会 (仙台市) 岩中出場
- 8.18～19 第14回県体 (岩高プール) ①岩高 43点
 400 自 ① 細矢 5'00"0 県高新 200 バタ ① 藤原 2'38"1 県高新
 800 リレー ① 盛岡市(中沢、小田原、細矢、藤原) 9'44"1 県新
9. 第17回国体 (岡山市)
 藤原、小田原、細矢、中沢 出場

- S 38. 1. 13 第13回冬季東北大会 (釜石鈴子プール)
- 6.29～30 第15回高体連 (岩高プール) ①岩高 94点
 400 リレー ① 岩高(小田原、坂東、細矢、中沢) 4'25"8 県新
7. 13 盛岡水泳協会設立総会 (正食会にて)
 会長 柄内松四郎、理事長 村井与志和 (30人出席)
- 7.21～22 第16回県中体連 (大船渡赤崎プール) ①石鳥谷中 ⑤岩中 40点
- 8.10～11 第18回東北大会 (秋田市) ④岩高 26点
 400 自 ② 中沢 1500 自 ③ 中沢 400 リレー ③ 岩高 800 リレー ② 岩高
8. 18 第15回市民大会
- 8.24～25 第15回県体 (岩高プール) ①岩高 45点
 400 自 ① 中沢 4'50"3 県高新 100 自 ① 中沢 1'01"8 県高新
9. 1 第3回市内水泳記録会 (仙北中プール)
 400 個メ ① 細矢 5'53"0 県新 1500 自 ① 中沢 20'08"4 県新
- 9.15～18 第18回国体 (山口県宇部市)
 小田原、細矢、中沢、
 (OB) 藤原 出場
9. 29 第1回県高校新人大会
 (志戸平)
 ①岩高 65点



- S39. 1. 12 第14回冬季東北大会 (釜石鈴子プール)
6. 第16回高体連 (一関市営プール) ①岩高 89点
200自 ① 中沢 2'17"1 東北新、県新
- 7.11~12 県選手権大会 (仙北小プール)
- 7.25~26 第17回県中体連 (金田一温泉プール) ③岩中 53点
- 8.8~9 第19回東北大会 (") ④岩高 24点
200自 ① 中沢 400自 ② 中沢 1500自 ③ 中沢
- 8.15~16 第16回県体 (岩高プール) ①岩高 52点
100自 ① 中沢 1'00"6 県高新
8. 15 学童大会 (岩高プール)
9. 国体中止
9. 第2回県新人大会

このように県内における我校は他校を圧するものがあるが、しかし東北大会や全国大会では自己の実力をフルに出しきれず、予思を下回る結果に甘んじている。今後は目標を大きくもっていつの大会でも最高タイムを出せるように練習を積み、自信を持って大会に臨むようにすべきである。実力があってこそ自信が湧き、またその実力は毎日の練習の蓄積によって養われる。正規の練習以外でも自分から進んで泳ぐくらいの意欲は常にもって欲しい。これからは中学、高校を問わず、どんどん各校にプールが新設され大会ごとに進出してくると思わねばなるまい。県下の水泳界では我校は古い伝統や優勝回数の上でも異彩を放っている。諸先輩が築き上げたこれらを大切に、部員全体でまとまり守り通してもらいたい。また、上級生は下級生をいたわり、下級生は上級生にしたがい整ったチームワークのもとに努力を重ね、着実にその成果を示し、益々部を強化、発展させてくれることを期待してやまない。

また、この一年間、水泳部のために陰の力となって合宿、大会、その他でいろいろ尽してくれた小谷地勇助君に感謝する。また終りにあたり、我々部員を熱心に御指導御援助して下さった草島先生をはじめ諸先生、先輩各位に深謝すると共に、今後とも後輩諸君のためにより良き御指導、御鞭撻下さることをお願い致します。

(細矢記)

- S40. 1. 第15回冬季東北大会
- 7.3~4 第17回高体連 (金田一温泉プール) ①岩高 75点
7. 17 第16回全国勤労者大会県予選会 (一関市営プール)
- 7.17~18 県選手権大会 (一関市営プール)
- 7.25~26 第18回県中体連 (一関市営プール) ①岩中 96点
200平 ① 茂庭 3'00"0 県中新
- 8.1~3 第16回全国勤労者大会 (仙台市)
- 8.1~3 全国中学大会 (天理プール)
- 8.28~29 第17回県体 (付属中プール) ①岩高
9. 第20回国体 (岐阜)
斉藤、越戸、遠藤 出場
9. 第3回県新人大会 ①岩高

最後に、練習、エピソード、その他に記することにする。我々が一シーズン泳ぐ距離はザット600KM盛岡から東京まで泳いでいることになる。このことは一日にして、成しえない努力があったらと思う。又今年は優勝が出来ないだろうと思われていたのに、高体連、県民大会、新人戦と優勝したことは感激ひとしおであると同時に顧問の先生、先輩に敬意を表したいと思います。

夏の日、一日中プールに戯れた我々高三、四人もきっと高校時代を懐かしく思い浮かべることであろう。後輩諸君スポーツをやりたまえ、二度と帰らぬ青春の若々しい力をスポーツに発散させたまえ、意味ある高校生活をしようじゃないか、今後、後輩の活躍を期待しペンを置くことにする。(坂東記)